

2023年10月1日  
メッセージタイトル「御言葉に導かれて」  
使徒言行録17章10～15節

1. パウロに導かれる

テサロニケから脱出した後ベレアへ およそ( ) km  
そこから先のアテネまでは( ) km  
パウロはいつもの通り( )に入り、教える。

2. 聖書に導かれる

テサロニケのユダヤ人よりも素直 = オープン( )  
原語(ギリシャ語):高貴な者( )など身分を表す言葉でもあり、その性質を表す  
聖書に対して心が開かれていたとは?  
彼らの関心は( )どうか(この時は旧約聖書)  
パウロが言ったからといって軽々しく信じない  
パウロは( )でした。  
「自分たちで調べた」結果、本当にそうだったので( )に至った。  
聖書には人を( )力がある。(2テモテ:3:15～17)

3. アテネへ

テサロニケのユダヤ人はパウロに( )があった。  
テサロニケのユダヤ人にとってはパウロの言葉は( )の言葉ではなかった。  
アテネまでは往復( ) km パウロの安全と宣教をまもった人々がいた。  
マケドニア伝道の終わり( )地方へ  
シラスとテモテはコリントで合流した(18:5)

メッセージ

①テサロニケとベレアの違い

自分には( )ことがある。聞く耳を持つことにつながる。

②単純な聖書研究の重要性

信仰は( )なものではなく、( )確信に基づいている  
イエス様の( )途上の聖書研究(ルカ24:27)

③聖書の力(聖書エッセイコンテストから)

かつて書かれた事柄は、すべてわたしたちを教え導くためのものです。それでわたしたちは、聖書から  
( )と( )を学んで( )をもち続けることができるのです。  
(ローマ15:4)